

中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社
経営計画チャレンジV (2021-2025)



2025

Central Japan Highway Patrol Tokyo Co., Ltd.
Management Plan Challenge V2021-2025



会社概要



社名	中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社	主な事業(2023年度売上:億円)	
グループ化経緯	2008年(平成20年)2月 設立	高速道路事業	33.61
社長	阿久根 浩	休憩所事業	0
本社所在地	東京都新宿区	その他(関連)事業	0.27
主な事業拠点(基地)	東京都・神奈川県・静岡県・山梨県・長野県	全事業売上高	33.88
従業員数	510名(2025年4月1日時点見込)	連結子会社	持分法適用関連会社
		該当なし	該当なし

業務推移【百万円】	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (見込)
営業収益	3,252	3,289	3,301	3,388	3,703
営業利益	1	1	3	0	9
当期純利益	▲95	▲27	2	63	8
総資産額	791	717	713	790	733
(内 固定資産)	159	244	250	253	257
(内 純資産)	327	299	301	363	372

経営計画 2025年度のトピックス

■ 安全性向上の更なる推進（「使命感は安全を超えてはならない」等の徹底）・「誇り」と「やりがい」を感じられる職場・環境づくり

I. 安全性向上への取組みの深化

① 訓練の実効性の更なるアップ

・時間制限を設けた（「**焦り**」の負荷）たこつぼ（ブルッカレコード）訓練等



② 殉職事故(2019.11.9)風化防止の取組み

■ 風化防止の具体的な取組みを継続・強化

殉職事故現場直近（談合坂廃道敷） 献花式に参加できない社員の想いでの**同時刻帯での再現訓練**展開
を供える取組みも検討



③ 業務中事故防止に向けた取組み

■ **安全管理レポート**の四半期毎の共有



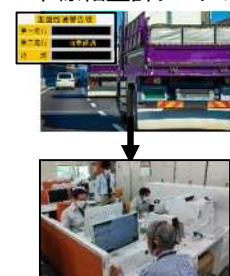
・G会社・工事関係事故の発生状況
・各基地訓練・ドラレコ確認状況
・ヒヤリハットの共有（注目情報）



ヒヤリハット事例（映像参照）

④ 法令違反車両の取締り強化

■ 本線軸重計データの活用



■ 交通管理隊や料金所からの情報を活用



データ
分析・活用

・跨ぎ、路肩走行車両の捕捉
・情報処理業務のバックアップ体制の強化
・行政処分誤発出防止のためのNEXCOとの合同訓練

⑤ 関係機関等との連携強化

■ **IP無線**の活用による安全かつ効果的な路上作業の推進



・各県警等の導入状況

【2021年度】山梨県警 【2025.1.8】愛知県警
【2022年度】静岡県警、神奈川県警 【2025.3.13】警視庁
【2023年度】長野県警

■ 工事受注者等への安全講習会



【2023年度実施状況】

① NEXCO発注工事業者 69回
② ①以外工事業者 15回
③ グループ会社 8回

■ **レッカー業者**等との合同訓練

昨年度の路肩作業中レッカー業者死亡事故を踏まえ各基地で継続実施予定



⑥ 大規模災害等の記録作成

■ 過去災害・重大事故の体験を収集し、教訓として受け継ぐ



■ 防災の日の取組み

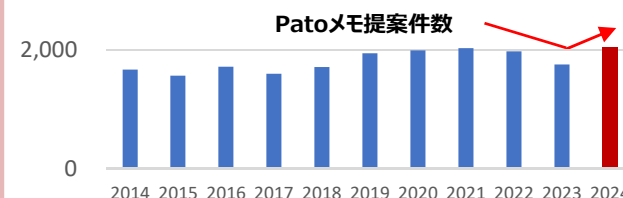
災害レポートを題材に各基地で討議



⑦ patoメモ活動の活性化

■ patoメモ活動の継続・安全掲示板への投稿推進

・**重点テーマの設定**（四半期に1回・月）など（2024年度～）



⑧ お客さまの安全性向上

■ ヒヤリハット映像の提供・TV出演等



「めざまし8」（6/19）でコメントする当社社員

巡回車ドラレコのヒヤリハット映像をHPにアップし、TV番組にも提供（2024年度8件）・出演

■ HP上でのセーフティドライブコーナーの充実

「教えて！管理隊。」



当社のノウハウをよりわかりやすくお客さまにお伝えする

経営計画 2025年度のトピックス

Ⅱ. 明日を担う人財の育成

①内部・外部の各種研修や訓練等による人財育成

■研修や訓練によるキャリア形成と組織力強化

- ・富士スピードウェイ・トヨタモビリティでの研修

(スリップ訓練)



(バンク訓練)



(運転姿勢等の講習)

■AOJT内容の整理・充実

= Aggregation On the Job Training



※各種研修資料のプラットフォーム

- ・各基地共通マニュアルの取込み

- ・規程、通達、事務連のツリー図の取込み等

■スキルアップデー（集中訓練日）の全社展開検討

車両けん引移動の実践訓練



布製タイヤチェーン脱着訓練



②コンプライアンス意識の浸透

■風通しの良い職場づくりの推進

- ・カスハラ対応マニュアルの作成



- ・実態調査に基づきお客さまと対面する自社マニュアルを作成

- ・自社Q&Aの活用、ブラッシュアップ



- ・「貰ったホウ・レン・ソウは、オ・ヒ・タ・シで返す」の徹底



③SSRを活用したCSマインド向上

※SSR:スマイル&セーフティ・リサーチ

■“お客さまの声”を更なるCS意識向上に活用

接遇時、QRコード付きはがき配布



基地CS会議で経験を共有



返信はがきから「お客さまの声」を分析

CS向上

モチベーションアップ※



※「神様・ヒーロー列伝」冊子の作成・配布（2024年度）

④ダイバーシティ等※の推進

※エクイティ(公平性)、インクルージョン(帰属意識)を含む

■働きやすい職場環境・制度の整備

- ・女性隊員休憩室等の環境整備

- ・定年延長の導入
職務に見合った体力測定の実施等



- ・時間休制度の全社導入



⑤ワーク・ライフ・バランスの充実

■「やめる業務」のフォローアップ

- ・昨年度「検討中」に区分されたもののフォローアップ等を行う



区分	件数
廃止	23
変更	8
検討中	35
不採用	49
計	115

⑥各種手当等の見直し

- ・各種申請システムの導入と、現場手当等制度の整理・見直し



⑦モチベーションアップの取組み

- 「高速道路の守り人コンテスト」 MIBに掲示
(車限PRポスターの募集)

車限令違反の抑止、隊員のモチベーションアップを目的に車限業務の意義を広く周知するポスターコンテストを開催（結果発表、表彰・掲示）



⑧福利厚生充実

- リクラブ等への変更



経営計画 2025年度のトピックス

Ⅲ. 次世代への進化・チャレンジ

① i-MOVEMENTの取り組み

■ 管制でのタブレット運用（管制PT）



■ サービス管理員業務（管制PT）

SNS情報提供（X・LINE等）2024.4～



行動変容やお客さまの理解を得られる情報発信の強化



■ 巡回車での路面損傷検知実証実験

（保全点検PTへの協力）

・伊勢原基地 2023.08～
車内カメラ



データ記録用車載パソコン（後部座席）

② リール付き矢印板の開発・検証

業務研究発表会での取り組み発表



矢印板（自社製品）
「フォールディングアローワイド」

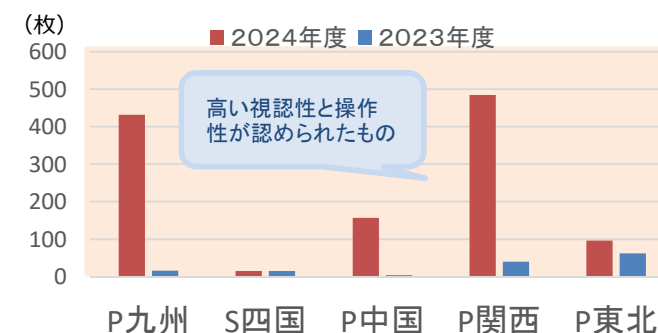
突風対策矢印板
（リール付き）の試作品



実験場での規制器材耐風試験



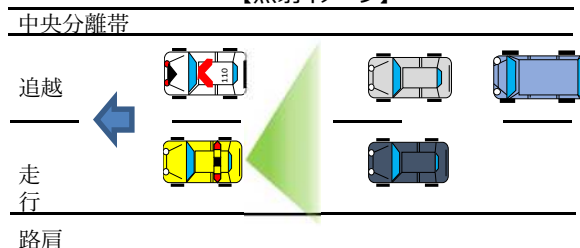
主な他パト会社の既存フォールディングアロー購入実績



③ セーフティライン導入に向けた取り組み

■ 巡回車への搭載に向けたNEXCO（八王子支社）との協働

【照射イメージ】



・より安全な先頭固定のため、後続車両へ注意喚起

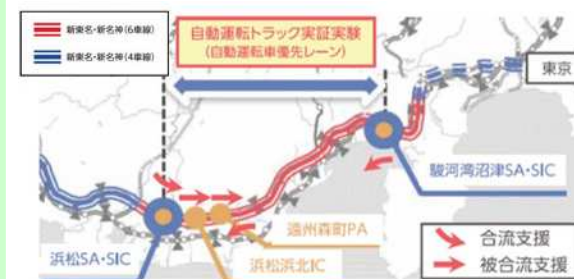


・2024年8月下旬より諏訪基地で試行開始（交通管理業務では全国初）

④ 自動運転技術開発等に向けた連携・協力

・富士・浜松基地管内での自動運転トラック優先レーン等の運用実証実験

・2025.3.3～



自動運転車優先レーン	
区間	駿河湾沼津SA～浜松SA
専用優先	優先レーン（第一通行帯）
時間帯	22:00～5:00 （土日祝日、特定日を除く）